

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
金融論	石原 洋介	講義	4		1, 2, 3	1, 2, 5	2, 3, 4
授業概要 授業目的	日本の金融システム、金融市場、金融商品、金融政策及び過去の金融危機の背景などについて、最新のデータを示しながら概要や特徴を説明する。また、専門的な知識に基づき、金融に関する今日的な課題について、ひとりの市民として考察し判断する力を伸ばすことを目的とする。						
到達目標	金融の専門的知識や金融リテラシー(社会生活を送るために必要な金融の知識)を身につけ、金融に関する社会的課題について正しく判断でき、金融を適切に活用して生活を豊かにする力を伸ばす。						
回	学習内容		回	学習内容			
1	ガイダンス、貨幣の歴史①、貨幣の起源		16	国債②、国債価格、国債格付け、発行の仕組み			
2	貨幣の歴史②、日本の貨幣史		17	短期金融市場①、インターバンク市場			
3	商品と貨幣①、商品交換と貨幣の発生		18	短期金融市場②、オープン市場			
4	商品と貨幣②、貨幣の発展段階と金本位制		19	長期金融市場①、証券取引所、債券市場			
5	貨幣の機能①、貨幣の機能		20	長期金融市場②、株式市場			
6	貨幣の機能②、信用創造とマネーストック		21	日本銀行と金融政策①、沿革、3つの機能			
7	資金循環①、資金循環と企業の資金調達方法		22	日本銀行と金融政策②、伝統的金融政策			
8	資金循環②、間接金融と直接金融		23	日本銀行と金融政策③、非伝統的金融政策			
9	日本の金融機関①、日本の銀行		24	国際収支と外為市場①、国際収支			
10	日本の金融機関②、協同組合系金融機関		25	国際収支と外為市場②、外国為替取引、為替相場			
11	日本の金融機関③、保険業、ノンバンク		26	国際収支と外為市場③、外国為替市場			
12	日本の金融機関④、証券業、政府系金融機関		27	デリバティブ市場①、取引の概要、先物取引			
13	銀行融資と金利①、プライムレートと金利		28	デリバティブ市場②、スワップ、オプション			
14	銀行融資と金利②、金利の構成要素と変動要因		29	サブプライム危機①、危機発生の背景			
15	国債①、国債の種類		30	サブプライム危機②、今後の教訓			
予習内容 復習内容	事前配布するレジюмеに目を通し、問題意識を持って講義に臨むこと。 質問カードへのコメント集を配布するのでよく読んで復習すること。						
教科書	特定のテキストは使用しない。单元ごとにレジюмеを配布する。						
成績評価	出席時に提出する質問カードの内容(30%)、課題レポート(70%)						
実務経験							
その他 特記事項	関連講義として「統計学」、「経済原論」、「経済政策」、「簿記原理」、「財政学」、「国際経済論」等の履修を推奨する。また、新聞を毎日読むように。						